'10-8月改訂 組立・施工説明書

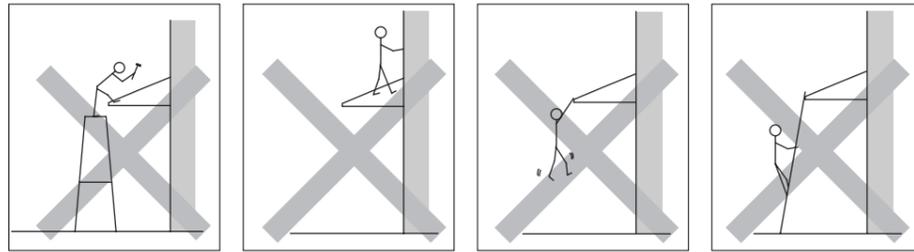
コンバイザー

YKK ap

このたびは、YKK AP商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工時、防水処理方法を参照し、防水テープの貼付(先付納まりのみ)、シーリングを必ず行ってください。

お願い

- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
- 本商品の取付は、木造躯体(在来・ツーバイ)3階までとなっております。その他の納まり・工法は、別途お問い合せください。
- 金属サイディングの場合は、先付納まりとしてください。(後付不可)
- 建物の屋根雪が落ちる場所には取付けないでください。
- 積雪が50cmになる前に、必ず雪降ろしをするように施主様にご説明ください。
- 施工前に必ず建築図面等から柱、間柱などの位置、寸法、外装材、下地の寸法を確認してください。
- 通気工法の場合、ひさしの取付位置に胴縁があることを確認してください。胴縁が無い場合は、あらかじめ胴縁下地材を入れて頂くように建築施工業者と相談してください。
- コーチねじは必ずドリルで下穴をあけ、シーリング材を充てんしてから、たたき込まずに確実にねじ止めしてください。
- 出幅400、500を45㎜以上の壁厚に施工する場合は、厚壁用ねじセット**GKM-4**(φ8×120：10本セット)を別途手配してください。
- 横連結する場合は、連結部にあらかじめ105角以上の柱が必要です。

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
商品の不具合や組立・施工作業には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

- ひさし本体の取付の際は、仮置き後、放置せず、ただちに本固定してください。
- 施工後、各部の締め忘れやゆるみが無いか、よく確認してください。
- 商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは説明書に従い必ず行ってください。
- 商品の上に乗ったり、ぶら下がったり、はしごを掛けたりしないでください。商品の変形だけでなく、落下事故の原因になります。
- 取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

全体構成図

シーリングは必ず実施してください！

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。シーリングがされないと、**漏水の原因**となったり、家屋や家財を傷めるなど**重大事故につながるおそれ**があります。
- 外壁面とのシーリングは、プライマーを塗布し、伸縮性に優れた変成シリコーン系シーリング材を使用してください。(別途手配品)

シーリング材
シーリングマーク

チェックシート

取付時、下記項目の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	先付納まりの場合、防水シートが貼ってありますか？	
❷	先付納まりの場合、防水テープを貼りましたか？	
❸	ひさし本体と外壁材の取合い部にシーリングをしましたか？	
❹	連結部のすき間にシーリングしましたか？	

同梱包部品一覧

■ひさし本体

番号	①	②	③	④
姿図				
品名	コーチねじ(φ6×110)	補強板 出幅300用	補強板 出幅400・500用	防水ドリルねじ(φ4×16)
品番	2K-19285	3K-16559	5K-11588	3K-13455
備考		外径：φ26	49×35	

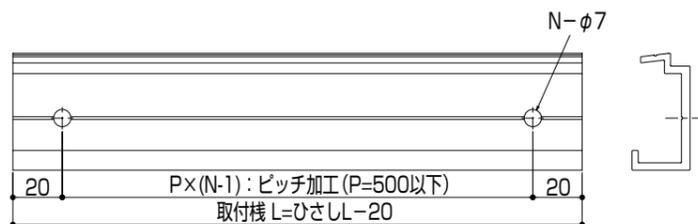
■連結ユニット(オプション)：9PR-W-J

番号	⑤	⑥	⑦
姿図			
品名	連結部品	十字穴付六角ボルト(M4×10)	バックアップ材
品番	5K-11590	2K-14713	K-49223
個数	1	2	1
備考			L=1300

■すだれフック(オプション)：9PR-G-1

番号	⑧
姿図	
品名	すだれフック
品番	5K-11589
個数	2

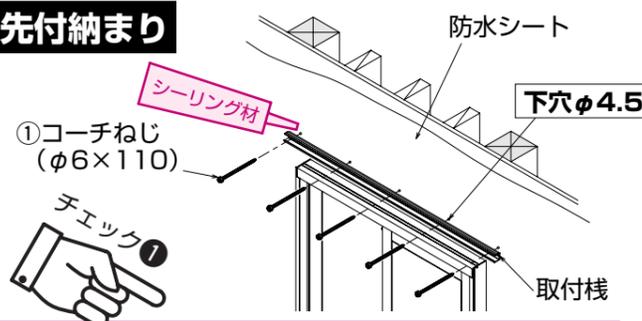
1.取付桟の加工

躯体の柱・間柱の位置に合わせ、取付桟にφ7の穴加工をしてください。

2.取付桟の施工

シーリング

コーチねじは下穴(φ4.5)をあけ、シーリング材を充てんしてからねじ込んでください。

先付納まり

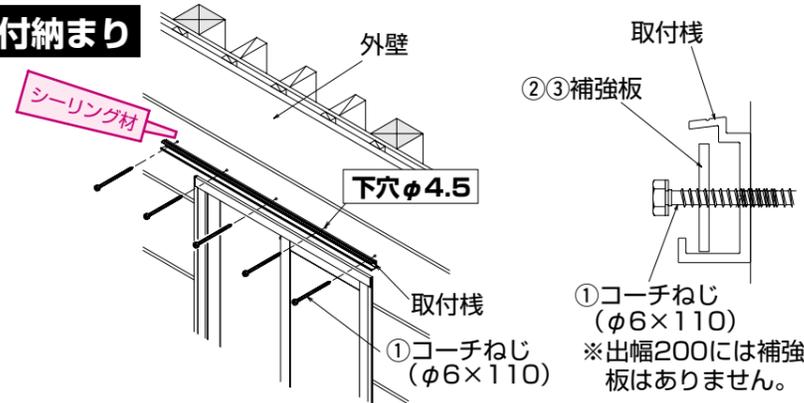
シーリング材
①コーチねじ(φ6×110)
防水シート
下穴φ4.5
取付桟
チェック❶

注 意

防水シートが貼ってあることを確認し、防水シートの上から取付桟を施工してください。

後付納まり

シーリング材
外壁
下穴φ4.5
取付桟
①コーチねじ(φ6×110)
②③補強板
取付桟
①コーチねじ(φ6×110)
※出幅200には補強板はありません。

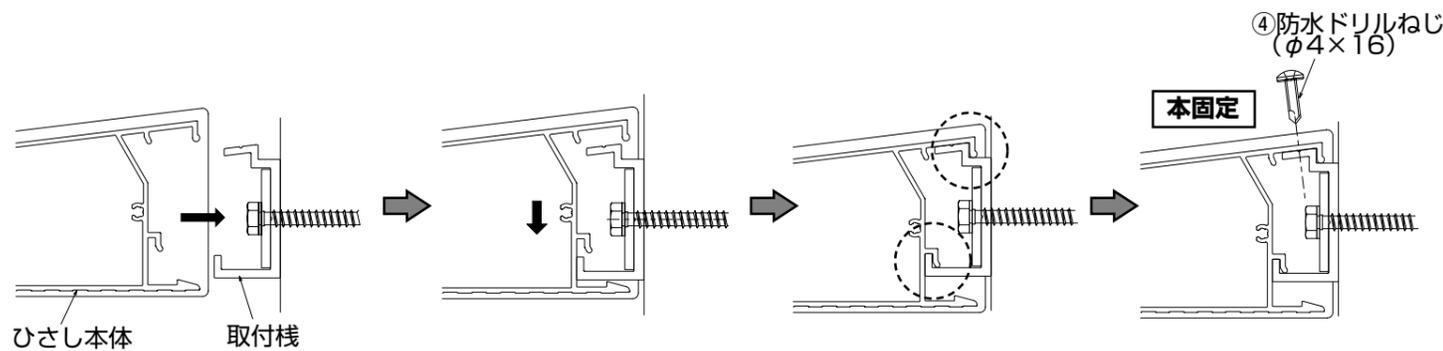
ポイント

補強板(**5K-11588**)には向きがあります。図を参考に取付けてください。

■出幅400・500の厚壁対応

壁厚が45㎜以上の場合は、下記厚壁用ねじセットを別途手配してください。
厚壁用ねじセットを使用する場合は、見付寸法45㎜以上の間柱に取付けてください。

壁　厚	品　番	呼び寸法	入り数量
45以上〜56の場合	GKM-4	φ8×120	10本

3.ひさし本体の取付

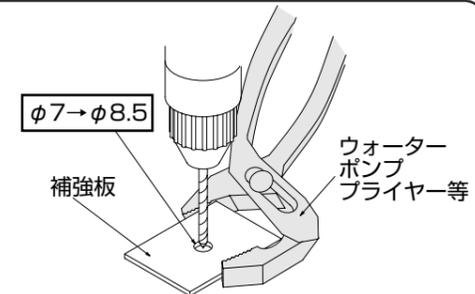
ひさし本体を取付桟に仮置きして、加工位置を合わせ、ドリルねじで本固定してください。

小口当て板と取付面のすき間は2㎜です。
すき間が均等であることを確認してください。

取付面
2
小口当て板

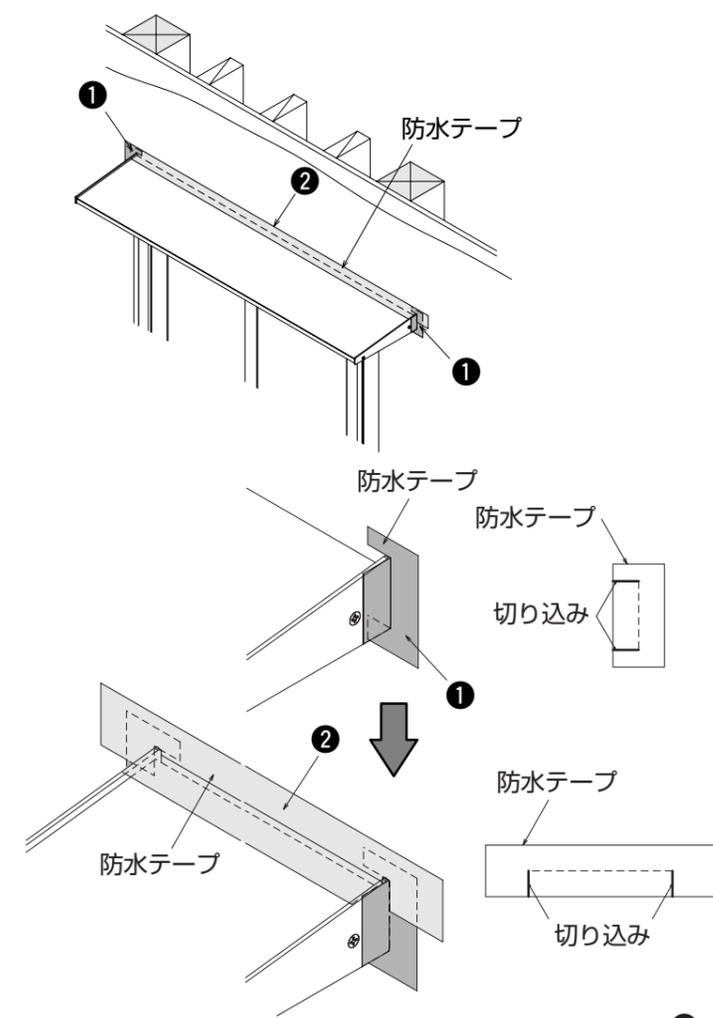
■厚壁用ねじを使用する場合

- 取付桟の加工をφ9に変更してください。
- 補強板(**5K-11588**)の穴加工を**φ7→φ8.5に拡張**してください。

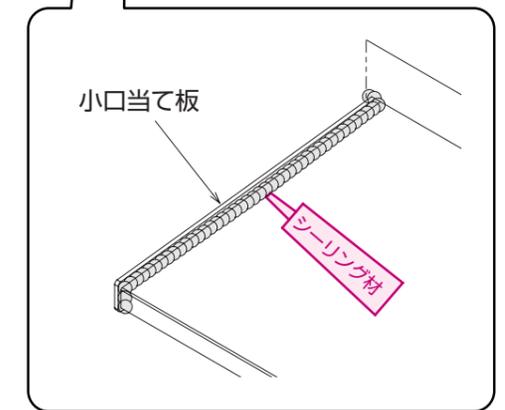
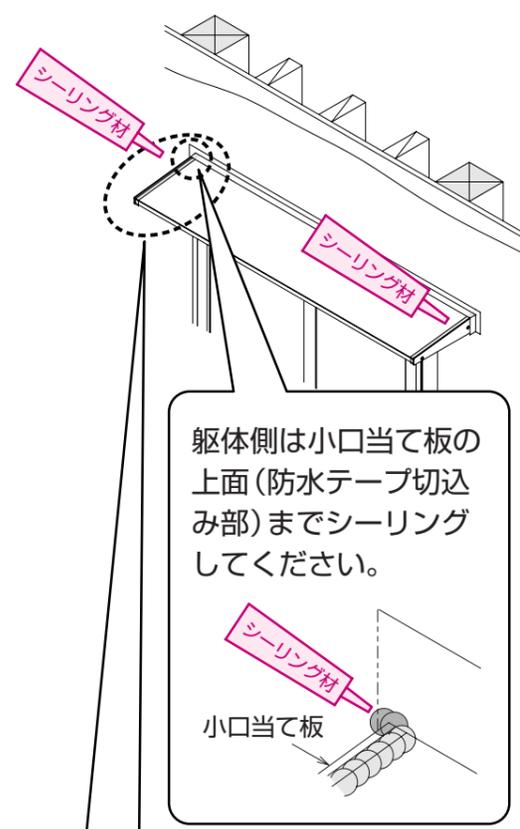
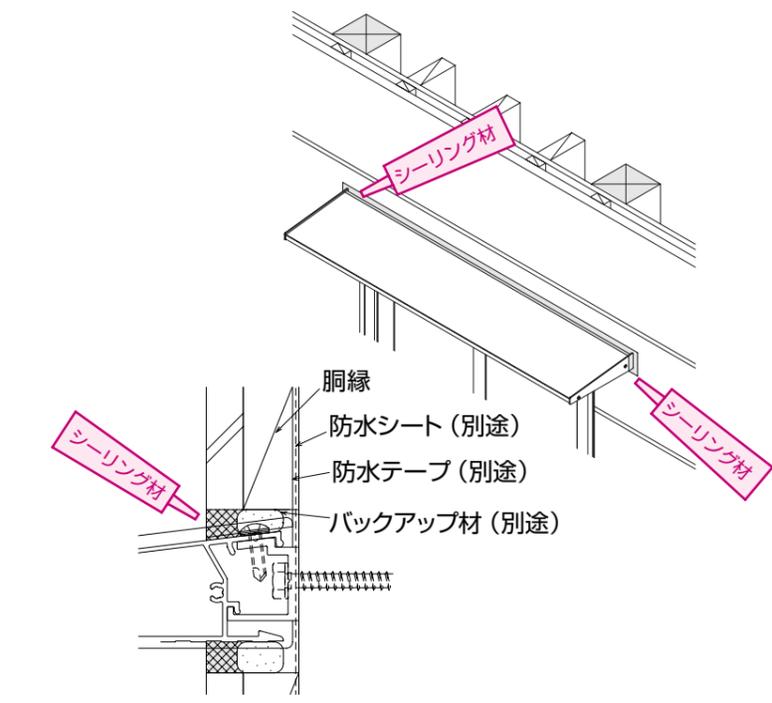
ポイント

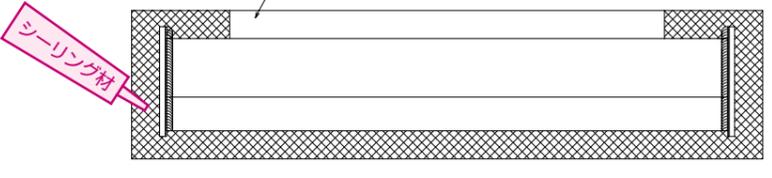
補強板を加工する際は、ウォーターポンププライヤーなどでしっかり固定して作業をしてください。

4.防水処理

先付納まり

1 防水テープ(現地手配)を下図の順番で貼付けてください。

注　意

防水テープは必ず貼付けてください。
貼付が不十分の場合、漏水の原因となり家屋を傷める可能性があります。

2 小口当て板周辺をシーリングしてください。

3 外壁仕上げ後、ひさし本体と外壁材の取合い部にシーリングを施してください。

【ひさし上部のシーリングについて】

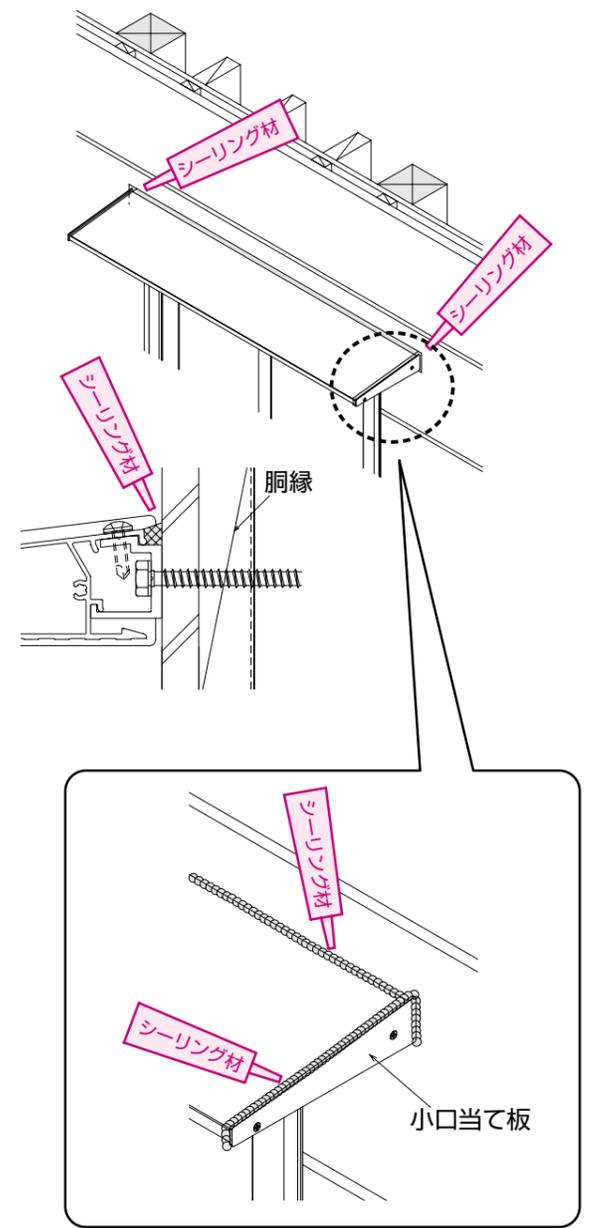
通気工法の場合：ひさし上部通気層への水溜りを防止するため、各外装メーカーの指示に従って排水処理を施してください。
直貼工法（通気層なし）の場合：全周シーリングしてください。

外壁業者様へのお願い

シーリングは必ず行ってください。

後付納まり

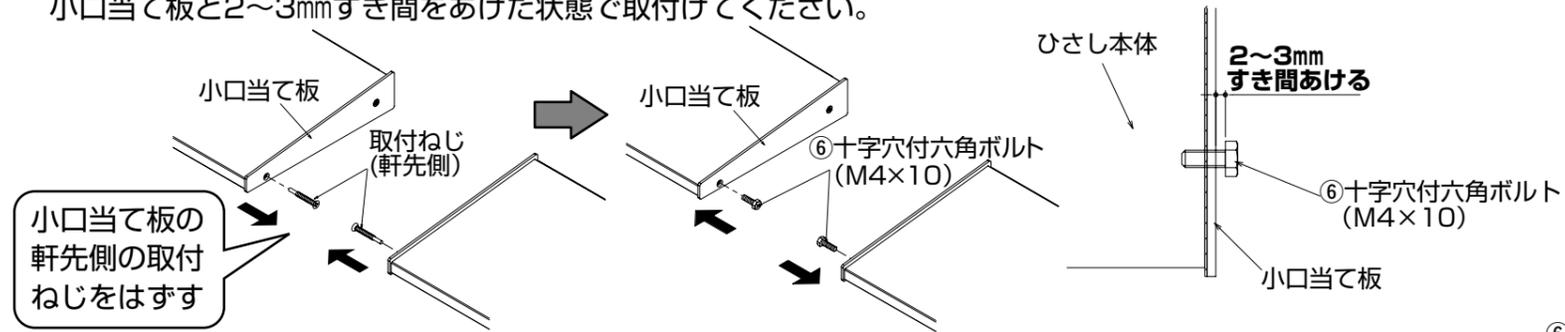
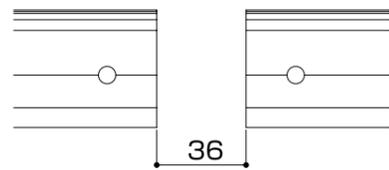
ひさし本体と外壁の取合い部および小口当て板周辺にシーリングを施してください。

'10-8月改訂 組立・施工説明書

コンバイザー

横連結(オプション)の施工

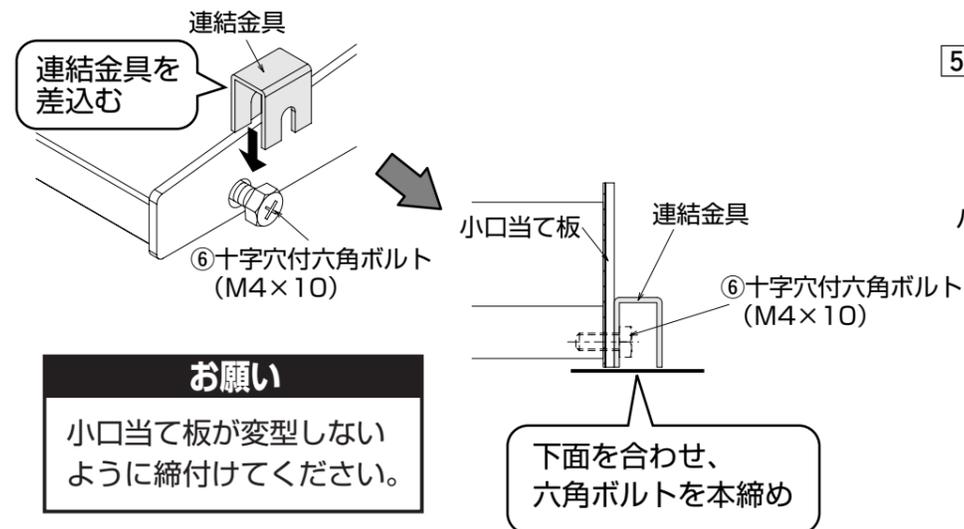
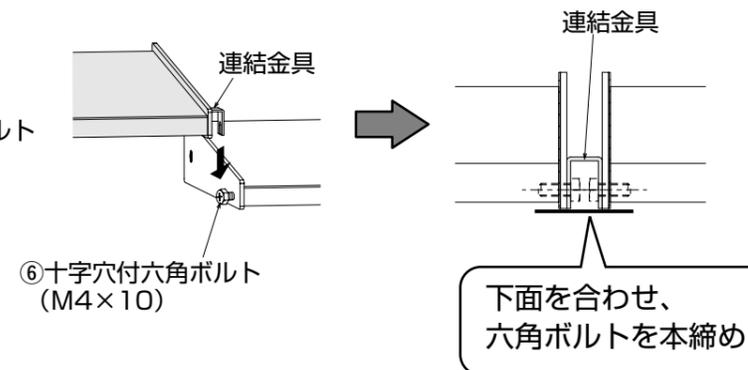
連結部以外の施工手順については、1ページの**「1.取付桟の加工」〜「4.防水処理」**を参照してください。

1 小口当て板の取付ねじのうち、連結部の軒先側のねじをはずし、六角ボルトを小口当て板と2〜3㎜すき間をあけた状態で取付けてください。

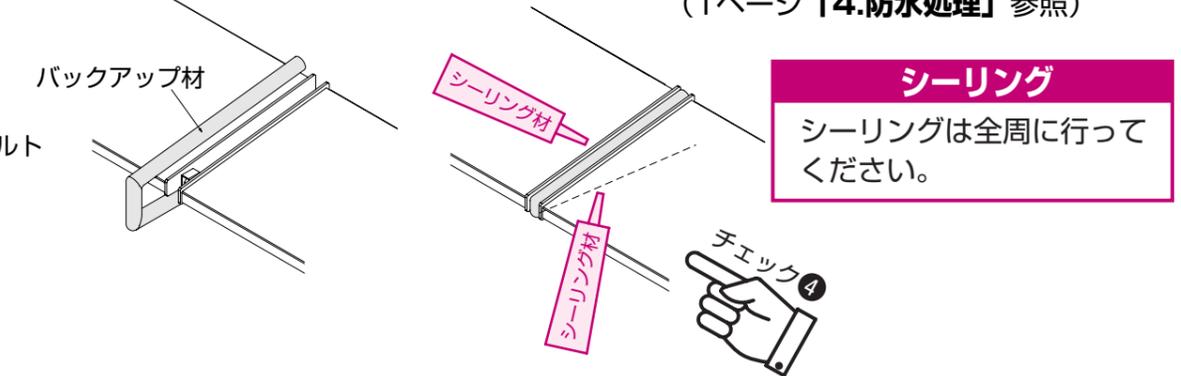
小口当て板
取付ねじ(軒先側)
小口当ての軒先側の取付ねじをはずす
小口当て板
⑥十字穴付六角ボルト(M4×10)
ひさし本体
2〜3㎜すき間あける
⑥十字穴付六角ボルト(M4×10)
小口当て板

2 連結する一方の本体を施工してください。
連結部は以下の寸法で取付桟を施工してください。

注 意
連結寸法36㎜を守って施工してください。

3 もう一方の本体に連結金具を取付けてください。

お願い
小口当て板が変形しないように締付けてください。

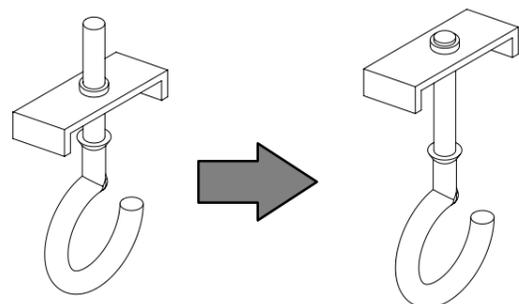
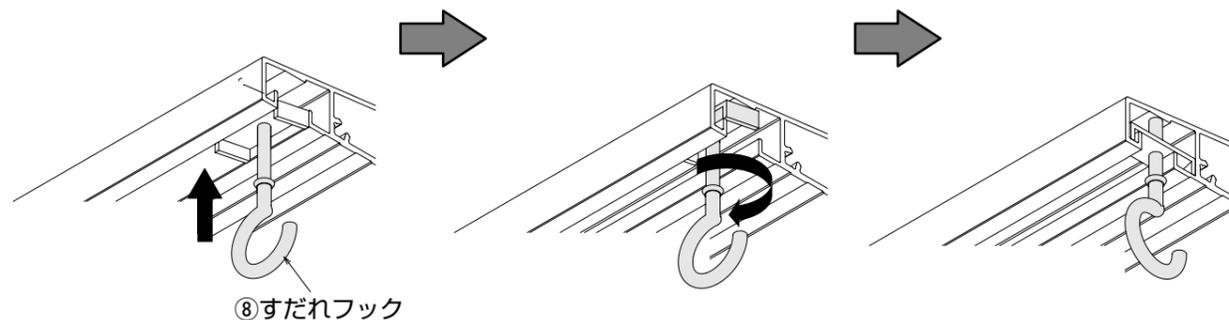
下面を合わせ、六角ボルトを本締め

4 先に施工した本体の六角ボルトと小口当て板のすき間に連結金具を差込みながらもう一方の本体を施工し、水平になるように高さを調整して、六角ボルトを本締めしてください

注 意
小口当て板とひさし本体にすき間がないように、ひさし本体を引き寄せてボルトを締付けてください。

5 連結のすき間にバックアップ材を挿入し、シーリングを施してください。
また、ひさし本体と小口当て板周辺にシーリングを施してください。
(1ページ**「4.防水処理」**参照)

バックアップ材

シーリング材
チェック❹

シーリング
シーリングは全周に行ってください。

すだれフック(オプション)の取付

1 裏板を左に回し(反時計回り)、すだれフック先端まで上げてください。

2 ひさしのレールに裏板を挿入し、すだれフックを右に回して(時計回り)しっかり固定されるまでねじを回してください。

お願い
- すだれフックには、すだれ以外のものを吊り下げないでください。
- 安全のため、室外の足元が安定した場所で取付けてください。
(2・3階でバルコニーがない場合は、取付けないでください。)

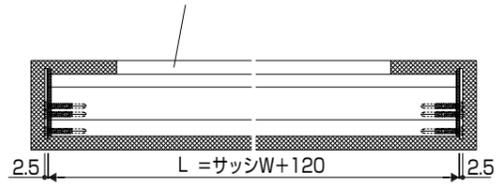
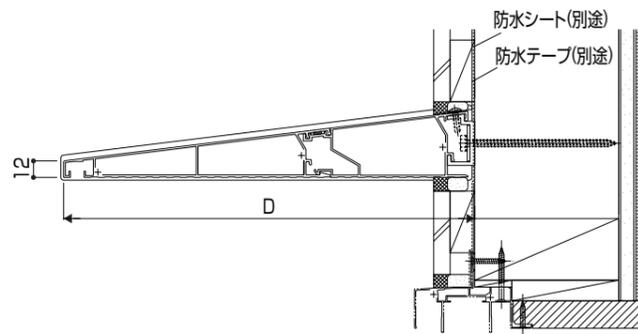
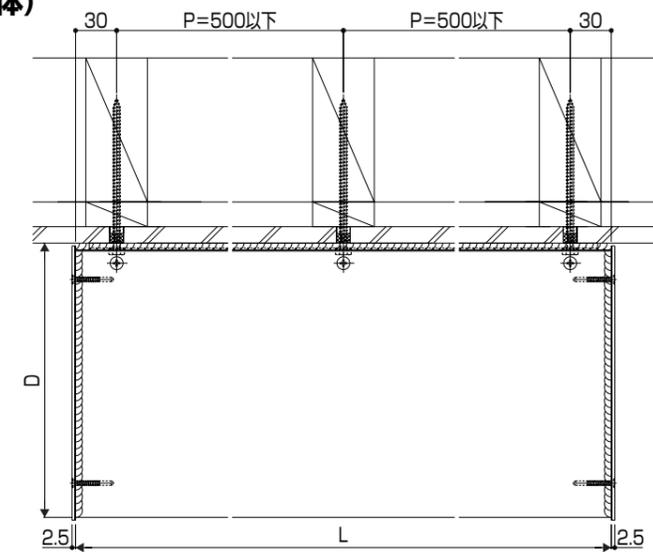
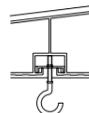
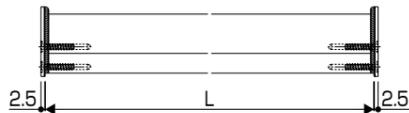
参考納まり図

縮尺 1/5 単位：㎜

■正面図(先付)

【ひさし上部のシーリングについて】

通気工法の場合：ひさし上部通気層への水溜りを防止するため、各外装メーカーの指示に従って排水処理を施してください。

直貼工法(通気層なし)の場合：全周シーリングしてください。

■側面図(先付)

■平面図(単体)

■正面図(後付)

すだれフック取付図

■側面図(後付)

●出幅200

●出幅400

●出幅300

●出幅500

■平面図(連結)